No. 118

構文・英文和訳 ULTIMATE CHEAT SHEET

読み間違える構文30

単語は全部わかるのに意味を取り違える——その原因になる構文30を、典型的な誤読→正しい読みで直す。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 動詞はどれか。-ed・名詞＋S V を見たら述語か修飾かを確かめる

2 文頭が普通でない語順なら倒置・省略を疑う

3 that・as・if は「後ろが完全文か」「比較級があるか」で識別

誤読を防ぐ3つの問い

①本当の述語動詞はどれか(-ed は過去形か過去分詞か)②この語句はどこにかかるか(修飾・並列の相手)③何かが欠けていないか(省略・倒置・挿入)。誤読の大半は、この3つのどれかを飛ばしたときに起きる。

◆ ① 主語と動詞を取り違える 7

☐ 1 -ed は過去分詞かもしれない

名詞の直後の -ed に前置詞句が続き、後ろにもう1つ動詞があれば、-ed は名詞を修飾する過去分詞。

> The man injured in the accident was taken to the hospital.
> 事故でけがをした男性は病院に運ばれた。

× injured を述語と見て「男は事故でけがをさせた」

☐ 2 名詞＋S V は関係詞の省略

名詞の後の S V で目的語が欠けていれば目的格の関係詞の省略(欠けがなければ同格の that の省略も)。文の動詞は後ろの were made。

> The rules we follow at school were made long ago.
> 私たちが学校で従っている規則は、ずっと昔に作られた。

× 「規則、私たちは学校で従い、昔作られた」と動詞を並べる

☐ 3 文頭の What は主語の名詞節

What＋V ～ の後に is・was が来たら、What ～ 全体が主語。疑問文ではない。

> What surprised me most was his calm attitude.
> 私がいちばん驚いたのは、彼の落ち着いた態度だった。

× 「何が私をいちばん驚かせたのか」と疑問で読む

☐ 4 文頭の -ing が主語のことも

-ing ～ の後にカンマがなく、すぐ動詞が来れば動名詞の主語。分詞構文なら後ろに別の主語が来る。※Sleeping children は -ing が名詞を修飾。

> Living in a foreign country teaches you a lot.
> 外国で暮らすと多くのことが学べる。

× 「外国に住んでいて、…」と分詞構文で読む

☐ 5 that の後が不完全なら関係詞

名詞＋that の後に目的語・主語が欠けていれば関係代名詞、完全な文なら fact・news などの同格「～という」(the day that ～ は関係副詞)。

> The news that she told me turned out to be false.
> 彼女が私に話した知らせは、うそだとわかった。

× 「彼女が私に話したという知らせ」と同格で読む(told の目的語が欠けている)

☐ 6 One of the 複数名詞 … is

主語は One。間の関係詞節(who live ～)は students を修飾するので複数扱い、文の動詞は単数の is。

> One of the students who live in this dorm is from Brazil.
> この寮に住む学生の1人はブラジル出身だ。

× is の主語を students と読み、文法がおかしいと判断する

☐ 7 名詞＋to V は「～する(という)」

decision・plan・ability などの直後の to V は名詞を説明する形容詞的用法。目的「～するために」ではない。

> The decision to close the school angered parents.
> 学校を閉鎖するという決定に、保護者たちは怒った。

× 「学校を閉鎖するために決定が…」と目的で読む

◆ ② 比較・数量の読み違い 5

☐ 1 The 比較級, the 比較級 の後半

後半の the＋比較級は「それだけ～」。less なら「それだけ～でなくなる」と訳す。

> The more I learned about him, the less I liked him.
> 彼のことを知れば知るほど、好きでなくなった。

× 「私は彼をより少なく好きだった」と直訳して意味不明に

☐ 2 than の後ろの is・was

than＋be＋p.p. の than は主語の働きをする(関係代名詞的)。「一般に思われているより～」。

> City life is more stressful than is commonly believed.
> 都会の生活は、一般に思われているよりストレスが多い。

× than 以下を「一般に信じられているのは…」と別の文で読む

☐ 3 no more than＝たった

no＝差ゼロ＋「少ない！」の気持ち。no more than 1,000 yen は「たった千円」。

> The ticket costs no more than 1,000 yen.
> チケットはたった千円だ。

× 「千円以上はしない」と範囲だけで読み、安さの気持ちを落とす

☐ 4 倍数＋those of

those は前の複数名詞(sales)の代わり。比べているのは「今年の売上」と「昨年の売上」。

> This year's sales were twice those of last year.
> 今年の売上は昨年の2倍だった。

× those を「あれら」と訳す

☐ 5 not so much A as B

「A というよりむしろ B」。話し手の主張は後ろの B。

> She was not so much angry as disappointed.
> 彼女は怒っているというより、がっかりしていた。

× 「がっかりしたほどには怒っていない」→怒っていたと読む

◆ ③ 倒置・強調の読み違い 6

☐ 1 文頭の Had・Were・Should

後ろに疑問符がなく、カンマの後に would などが来れば if の省略による倒置。

> Had it not been for your advice, I would have failed.
> 君の助言がなかったら、私は失敗していただろう。

× Had を「持っていた」、または疑問文と読む

☐ **2 目的語＋did S V**

否定の目的語(Not a word)が文頭に出て倒置。「ひと言も～しない」と全面否定になる。

> Not a word did she say.
> 彼女はひと言も言わなかった。

× 「一語ではない(何語か言った)」と読む

☐ **3 形容詞＋are＋S**

補語が文頭に出た倒置。主語は be の後ろの those who ～。

> Happy are those who can laugh at themselves.
> 自分のことを笑える人は幸せだ。

× those を補語と見て「幸せな人々は…である」と読む

☐ **4 場所の副詞句＋V＋S**

場所を表す語句が文頭で、自動詞(stood・lay・came)の後に名詞があれば、その名詞が主語。

> On the hill stood an old church.
> 丘の上に古い教会が建っていた。

× the hill を主語と見て「丘が立っていた」

☐ **5 It is 名詞 that ～ は強調構文**

It is と that を消して文が成り立てば強調構文。It は訳さず「～なのは…だ」。

> It is the quality, not the price, that matters.
> 大事なのは値段ではなく質だ。

× It を「それ」と訳す

☐ **6 So＋副詞＋did S V that**

so ～ that の so ～ が文頭に出た倒置。「とても～なので…」。

> So fast did he run that no one could catch him.
> 彼はとても速く走ったので、誰も追いつけなかった。

× So を「だから」と読む

◆ ④ 挿入・省略・共通関係 6

☐ **1 カンマで挟まれた it seems**

S V の間の , it seems, は挿入。「どうやら～らしい」と文全体にかける。

> The plan, it seems, has failed.
> その計画はどうやら失敗したらしい。

× it を主語に「それが見える」と読む

☐ **2 what S believe was ～**

S believe [think] は挿入。what が was の主語。「S が～だと信じること」。

> He did what he believed was right.
> 彼は自分が正しいと信じることをした。

× what を believed の目的語と見て was の主語を見失う

☐ **3 接続詞の後の S＋be の省略**

while・when・though・if の直後に前置詞句や形容詞が来たら、主節と同じ S＋be が省略されている(if necessary などは it is)。

> While in Paris, she studied art.
> パリにいる間、彼女は美術を学んだ。

× while を「一方で」と対比で読む

☐ **4 A and B が1つの名詞を共有**

loves と is loved by の両方が his students につながる共通関係。カンマが目印。

> He loves, and is loved by, his students.
> 彼は生徒たちを愛し、また生徒たちに愛されている。

× loves の目的語がないと考えて文が切れていると読む

☐ **5 so he did と so did he**

so＋S＋V は「実際にそうした」、so＋V＋S は「S もそうした」。語順で意味が変わる。

> He said he would come, and so he did.
> 彼は来ると言い、実際に来た。

× 「彼もまた来た」と So did he. の意味で読む

☐ **6 others の後の動詞の省略**

Some ～, others … の後半は、前と同じ動詞が省略されている。補って読む。

> Some students study to pass exams, others to learn.
> 試験に受かるために勉強する学生もいれば、学ぶために勉強する学生もいる。

× others を目的語に「他人に学ばせる」と読む

◆ ⑤ 識別と否定の範囲 6

☐ **1 so that＋can は目的**

カンマなしの so that S can [will] は「～できるように」(目的)が多い。カンマ付きの , so that は「その結果」が多い。最後は文脈。

> He worked hard so that he could support his family.
> 彼は家族を養えるように懸命に働いた。

× 「懸命に働いたので家族を養えた」と結果で読む

☐ **2 as＋比較級・変化の動詞は比例**

as 節に比較級や grow・become など変化の動詞があればまず「～するにつれて」を考える。

> As he grew older, he became more patient.
> 年をとるにつれて、彼は辛抱強くなった。

× 「年をとったので」と理由で読む

☐ **3 動詞の目的語の if は「～かどうか」**

know・ask・wonder の後の if 節は名詞節。未来のことなら will も使える。

> I don't know if he will come.
> 彼が来るかどうかわからない。

× 「もし彼が来るなら、私は知らない」と条件で読む

☐ **4 文頭の p.p. は受け身の目で**

過去分詞で始まる分詞構文は受け身(Tired ～ なら状態)の意味。主節の主語(the island)が「見られる」側。

> Seen from the sky, the island looks like a heart.
> 空から見ると、その島はハートの形に見える。

× Seen を「島が見た」と能動で読む

☐ **5 not … because は理由の否定**

2通りに読める。but because が続く・「～だから…しなかった」では筋が通らない時は、not が because 節まで打ち消す。

> He didn't study law because his parents wanted him to, but because he loved it.
> 彼が法律を学んだのは、両親が望んだからではなく、好きだったからだ。

× 「両親が望んだので法律を学ばなかった」(but because と合わない)

☐ **6 the last person＋関係詞節**

would ask・would expect などと組むと「最も～しそうにない人」。※文字どおり「最後に～した人」のことも。

> She is the last person I would ask for help.
> 彼女は、私が助けを求めるような相手では決してない。

× 「彼女は私が最後に助けを求める人だ」

まぎらわしい語の識別早見表

語	見分けの目印	意味
that	後ろが不完全／完全(fact 型の名詞)	関係代名詞／同格・名詞節
as	比較級・変化の動詞／形容詞＋as S V	～につれて／～だけれども
if	名詞の位置(目的語など)／主節の条件	～かどうか／もし～なら
since	起点からの継続(主節は完了形が多い)／理由	～以来／～なので
while	対比の内容／動作・状態の継続	～なのに対して／～する間
but	nothing but／anything but／all but	だけ／決して～ない／ほとんど
once	後ろに S V が続く／単独	いったん～すると／かつて
what	「何」で通る／通らない	疑問詞／～こと・もの

長い文で迷ったときの手順 4

① **動詞に印をつける**
-ed・-ing は「述語か修飾か」を保留して全部チェック

② **接続詞・関係詞の節をかっこでくくる**
節の中の動詞は主節の動詞ではない

③ **欠けている要素を探す**
目的語がない→関係詞、動詞がない→省略、語順が逆→倒置

④ **主節の S V を先に訳す**
骨組みが決まってから修飾を足す

確認テスト：正しい読みは？

1 The car parked outside belongs to my uncle. の主節の述語動詞は？
a uncle　b parked　c belongs　d outside

2 Little did I know about the plan. の意味は？
a 計画を知ろうとした　b 計画は小さかった
c 計画について少し知っていた
d 計画についてまったく知らなかった

3 She said she would win, and so she did. の意味は？
a 彼女は勝たなかった　b 彼女も勝った　c 彼女は実際に勝った
d 彼女は勝つと言っただけ

4 As we went higher and higher, the air became thinner and thinner. の as は？
a 比例　b 譲歩　c 理由　d 様態

5 The rumor that he spread was not true. の that は？
a 強調構文　b 関係代名詞　c 指示代名詞　d 同格

6 Since I moved here, I have made many friends. の since は？
a 理由　b 条件　c 時(～以来)　d 譲歩

7 Strange as it may sound, it is true. の as は？
a 理由　b 比例　c 様態　d 譲歩

8 The boy who I thought was shy gave a great speech. の was の主語は？
a who　b I　c speech　d shy

9 Only after the meeting did I learn the truth. の意味は？
a 会議の後になって初めて真実を知った
b 会議の後に真実を知っただけだ　c 会議の前に真実を知った
d 会議の後でも真実を知らなかった

10 While I like his ideas, I don't like his attitude. の while は？
a ～する間　b ～するまで　c ～なので　d ～だけれども

解答

1 belongs parked outside は car を修飾
2 計画についてまったく知らなかった 否定語 Little の倒置
3 彼女は実際に勝った so S V＝実際にそうした
4 比例 比較級の繰り返し＋変化の動詞
5 関係代名詞 spread の目的語が欠けている
6 時(～以来) 起点(越してから)＋主節が現在完了
7 譲歩 形容詞＋as S V
8 who I thought は挿入。who(＝the boy)が主語
9 会議の後になって初めて真実を知った Only＋副詞句＋倒置
10 ～だけれども 前後が対比

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート
(全439本・無料)